

AMDA・大学設立構想進む

国際貢献の プロ養成へ期待

アジア医師連絡協議会（AMDA）本部・岡山市が「AMDA国際大学」の設立構想を進めている。国際貢献のプロ養成と、平成十年春の開学を目指すという世界にも例のない大学指しており、菅波茂代表は、県内外の多くの自治体が関心を示している。しかし、約五十億〜百億円にも上る事業費をどう調達するか、卒業生に対するニーズがどれだけあるのか、などクリアしなければならぬ課題は多い。

このニーズはまだ少ない。このため、菅波代表は「広く国際的視野を持った人材を育成することで、各企業や国際交流を進めていく自治体など、卒業生の進路の幅を広げたい」としている。

流、貢献の拠点としてだけなく、市民のボランティア意識の高揚など波及効果は大きい」（寺田和子・同市企画審議監）と期待の声を強めた。

アジア医師連絡協議会（AMDA）本部・岡山市が、各国のNGOや大学、国際機関などと連携し、広域から公募する予定。国際貢献のプロ養成と、平成十年春の開学を目指すという世界にも例のない大学指しており、菅波茂代表は、県内外の多くの自治体が関心を示している。しかし、約五十億〜百億円にも上る事業費をどう調達するか、卒業生に対するニーズがどれだけあるのか、などクリアしなければならぬ課題は多い。

津山市は、四月に移転となる作陽音大跡地などに誘致する案などが一部で浮上している。岡山市は「音大側と跡地利用について話し合

致先として決定されない限り、財源の確保などの具体案検討には入れないのが現状で「AMDA側のヒシヨンがさらに明確になるまで様子を見たい」と今のところ慎重姿勢だ。

多くの自治体が関心

卒業者の 進路は？ 事業費調達など課題も

構想によると、同大学は国際貢献学部、学部のみで、語学などの一般教養、国際法、社会学などの専門科目を学ぶほか、世界各国のAMDAネットワークを生かし、難民キャンプなどでの実習も取り入れる。講師はAMDAスタッフのほか、

含めた具体的プランをまとめた「構想」として、AMDAでは、各国国際機関やNGOでのコーディネーター的役割を果たす人材養成を想定している。しかし、「諸外国に比べ二十数年遅れている」（菅波代表）といわれる日本の国際貢献の現状ではコーディネーター

現在までに誘致などの打診、問い合わせを行った自治体は県内十、県外二に上る。岡山は昨年十月末から運営形態、大学の具体的な中身などについて市長自ら

「時代的要請に合ったユニークな大学であり、魅力を感じる」（岡山市企画調整部）と話している。このほか「市の活性化のため、市民から『誘致してはどうか』という声が上が

岡山を日本の国際貢献の中心に」と活動を続ける国際貢献トピア岡山構想を推進する会（トピアの会）の谷口澄夫会長は「大学構想は国連からも大きな評価を受けており、期待は大きい。実現に向け会としてもできる限りのバックアップをしていきたい」と話している。

岡山を日本の国際貢献の中心に」と活動を続ける国際貢献トピア岡山構想を推進する会（トピアの会）の谷口澄夫会長は「大学構想は国連からも大きな評価を受けており、期待は大きい。実現に向け会としてもできる限りのバックアップをしていきたい」と話している。